

# 令和7年度第3回静岡県産業教育審議会

日 時 令和7年6月30日(月)  
午後2時から4時まで  
会 場 静岡県男女共同参画センター第3会議室

## 次 第

### 1 開会

### 2 あいさつ

静岡県教育委員会 教育部参与

### 3 事務局説明

- (1) 第2回審議会概要説明
- (2) 本日の協議について

### 4 協議

- (1) 論点① 「育成したい生徒像」とは？
- (2) 論点② 「育成したい生徒像」に必要な学び(方向性)とは？  
学びの具現化に向けて必要となる取組とは？

### 5 その他

#### 第4回審議会

日時：令和7年9月5日(金) 午後2時から4時まで

会場：静岡県男女共同参画センター(あざれあ) 501会議室

### 6 閉会

## 静岡県産業教育審議会委員

任期：令和7年1月1日～令和8年12月31日（2年間）

飯倉 清太 特定非営利活動法人NPOサプライズ 代表理事 欠席

(50音順 敬称略)

No.	氏名	役職	備考
1	飯倉 清太	特定非営利活動法人NPOサプライズ 代表理事	オンライン
2	上野 雄史	静岡県立大学経営情報学部経営情報学科 教授	
3	江頭 綾子	ヤマハ発動機株式会社 執行役員 ソリューション事業本部長	
4	奥田 都子	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授	
5	川田 善正	静岡大学 電子工学研究所 教授	会長
6	岸田 裕之	静岡ガス株式会社 代表取締役 取締役会長	副会長
7	齋藤 寛	東海大学海洋学部 学部長	
8	新林 章輝	静岡県立静岡農業高等学校 校長	
9	豊田 由美	特定非営利活動法人スマイルベリー 施設長	
10	西村やす子	株式会社 CREAMFARM 代表取締役	
11	村木 則予	株式会社アトリオン 代表取締役	
12	横田 茂永	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 学科長	オンライン

## 資料 2

## 令和 7 年度 第 3 回産業教育審議会 出席者名簿

## 専門高校代表校長（専門部会長）

所属	役職	氏名	部会名
県立田方農業高等学校長	校長	久保田 豊和	農業・水産部会
県立科学技術高等学校長	校長	大澤 貢	工業部会
県立静岡商業高等学校長	校長	松浦 真一郎	商業部会
県立富士宮東高等学校長	校長	鈴木 香	家庭・福祉部会
県立焼津水産高等学校長	校長	沼里 智彦	共通部会

## 教育委員会事務局

所属	役職	氏名	備考
教育委員会	教育部参与	宮崎 文秀	
教育政策課	課長	白土 達夫	代理：山田 英雄
教育D X推進課	課長	櫻井 澄人	代理：高橋 浩一
財務課	課長	上原 啓克	
教育施設課	課長	横田 恭子	
高校教育課学校づくり推進班	班長	大塚 晃司	
	教育主幹	河内 慶太	
	教育主査	渡邊 旬	
高校教育課指導第 2 班	班長	向中野 真記	
	教育主幹	片井 伴浩	
	教育主幹	平尾 順哉	
	教育主幹	山口 亮祐	
	教育主幹	朝比奈 玲子	

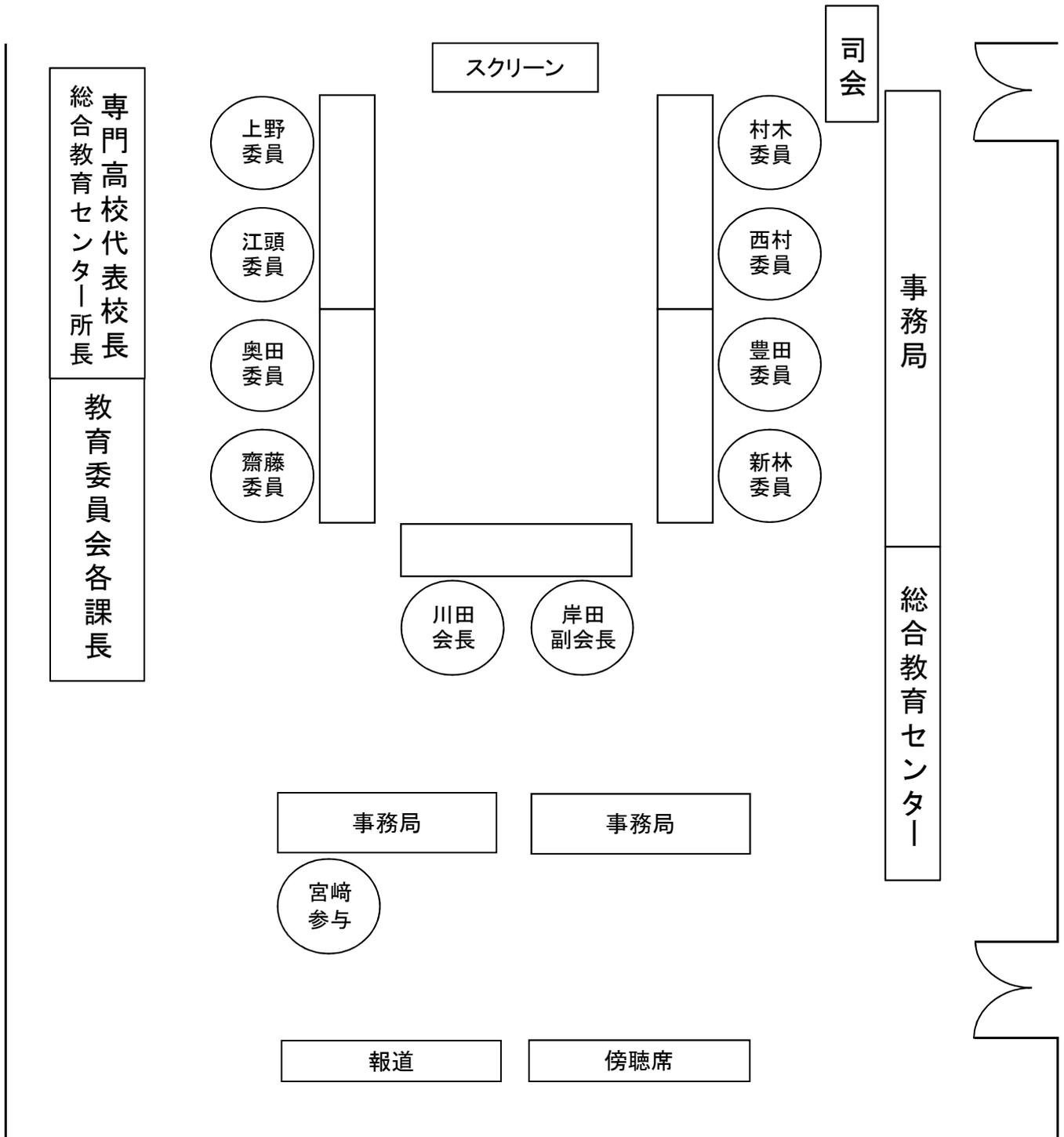
## 総合教育センター

所属	職名	氏名	備考
県総合教育センター	所長	持山 育央	
県総合教育センター高等学校支援課高校第 3 班	班長	鈴木 俊士	工業部会
県総合教育センター高等学校支援課高校第 3 班	教育主幹	福岡 亜紀枝	家庭・福祉部会
県総合教育センター高等学校支援課高校第 3 班	教育主査	杉山 暢啓	商業部会
県総合教育センター高等学校支援課高校第 3 班	教育主査	山下 高充	農業・水産部会

### 令和7年度 第3回静岡県産業教育審議会 座席表

日時 令和7年6月30日(月)午後2時～4時

場所 静岡県男女共同参画センター第3会議室



## 第 3 回静岡県産業教育審議会 協議テーマ

これまでの産業教育審議会での意見（資料 5）を踏まえ、静岡県の専門  
高校等でどのような生徒の育成が求められているか、より具体的な御意  
見をいただきたい。

## 論点①

静岡県の産業界の実態を踏まえ「育成したい生徒像」とは？  
【産業界のニーズを捉えた内容になっているか？】

- 例
- AI や IoT などの技術革新に対応できる高度で実践的な知識や技術を備えた人材
  - 専門分野を越えた技術の融合を図れる柔軟性を備えた人材
  - 起業家精神と経営感覚を併せ持ち、新産業の創出に参画できる人材
  - グローバル化に対応し、地域経済の維持・成長に貢献できる人材

## 論点②

①を踏まえ  
→「育成したい生徒像」に必要な学び（方向性）  
【前回までの審議会での意見（抜粋）】

- ・ 例えば商業×工業 製品を作るだけでなく経営的に考える学び
- ・ 企業側の視点（知識、技術、人間性 等）を取り入れた学び
- ・ 共通のデジタルリテラシー
- ・ リベラルアーツも含めた統合的な教養教育
- ・ 特別支援を必要とする生徒との共同的学び

→学びの具現化に向けて必要となる取組  
【前回までの審議会での意見（抜粋）】

- ・ アカデミックチャレンジ事業（大学連携による実践講座）
- ・ 焼津水産高校等の実践的取組の共有機会

### 1 「育成したい生徒像」に関する意見

- ・ 高校レベルで必要なデジタルリテラシーを持った人材の育成
- ・ 課題を発見し解決していくための資質・能力
- ・ 職場での自分の役割を理解することができる人材
- ・ 生産から提供までを理解した人材（経営的視点を持った人材）
- ・ 一つの業務だけではなく、全体を理解できる人材（ゼネラリスト）
- ・ 将来、会社を経営してみたいと思える人材
- ・ DX化の具体的な内容を理解していること
- ・ 実際の問題解決には基礎知識が重要
- ・ リーダーシップ、コミュニケーションスキル、チャレンジ精神等の人間性の育成
- ・ 産業の現場では個人の能力よりも多くの人が協力して力を発揮することが求められる
- ・ 現在は応用力、問題解決力、思考力が重視される
- ・ 高校は企業のニーズを知る必要がある（企業がほしがる人材）

### 2 「育成したい生徒像」に必要な学び（方向性）に関する意見

- ・ 学校だけで全てに対応することは困難であり外部リソースを上手に活用する
- ・ 学校と外部リソースを有効的に活用するためのコーディネーター
- ・ 地域の企業との連携が重要
- ・ 例えば商業×工業 製品を作るだけでなく経営的に考える学び
- ・ 一般に製品は、農工商などの連携で作られ販売されている
- ・ 実践的で「深い学び」
- ・ 企業側の視点（知識、技術、人間性 等）を取り入れた学び
- ・ 小中学生などに指導する機会などのアウトプット
- ・ DX化の理解
- ・ 最新技術のデジタルリテラシー
- ・ デジタル化については共通の基礎知識を（AI、通信、データ分析 等）
- ・ 若い世代の教員が主導する学び
- ・ 特別支援を必要とする生徒との共同的学び
- ・ リベラルアーツも含めた統合的な教養教育
- ・ 基礎知識を定着させ専門性を深めることが重要
- ・ 実践的プログラム作りは農業・水産・商業などの分野を超えて共有可能
- ・ 問題解決力を全員が高いレベルで持つことは現実的ではない

### 3 学びの具現化に向けて必要となる取組に関する意見

- ・ 水産加工ビジネスと焼津水産高校の好事例を分析し他分野への横展開を図る
- ・ 過去に行なっていたアカデミックチャレンジ事業は、大学連携による実践講座で、効果が高かった（受講者の中には起業する者もいた）

論点① ○「育成したい生徒像」とは？

- 例
- 産業構造の急激な変化(デジタル化など)
  - 県内産業の経済規模の維持と成長
  - 少子化による担い手不足
- 課題

- AIやIoTなどの技術革新に対応できる高度で実践的な知識や技術を備えた人材
- 専門分野を越えた技術の融合を図れる柔軟性を備えた人材
- 起業家精神と経営感覚を併せ持ち、新産業の創出に参画できる人材
- グローバル化に対応し、地域経済の維持・成長に貢献できる人材

主なキーワード

アントレプレナーシップ、問題発見解決力、チャレンジ思考、経営者感覚、人間教育、データサイエンティスト、グローバル人材、企業のニーズ、コミュニケーション、ジョブ型雇用、学びの姿勢、チームビルド

論点②

○「育成したい生徒像」に必要な学び(方向性)とは？

- 前回までの審議会での意見(抜粋)
- ・製品を作るだけでなく経営的に考える学び
  - ・企業側の視点を取り入れた学び
  - ・最新技術のデジタルリテラシー
  - ・リベラルアーツも含めた統合的な教養教育
  - ・特別支援を必要とする生徒との共同的学び

主なキーワード

深い学び、産学官連携、探究、体験実践、特別支援、アウトプット、AI・IoT、情報処理、通信技術、DX、デジタルリテラシー、データサイエンス、学科横断、学校間連携、キャリアプログラム、高大接続、総合知、ゼネラリスト、革新性

実現には

○学びの具現化に向けて必要となる取組とは？

- 前回までの審議会での意見(抜粋)
- ・アカデミックチャレンジ事業(大学連携による実践講座)
  - ・焼津水産高校等の実践的取組の共有機会

主なキーワード

専門性の担保、各種デジタル教育、スマートホン活用、マーケティング、外部講師招聘、企業等との共同研究、コーディネーター、新学科の設置、専門分野間の連携、輸出への視点、起業家講話、高校生による体験講座、高大連携実践講座、海外インターンシップ、教員研修、施設整備

次回、第4回の論点

○「育成したい生徒像」に必要な学校体制の整備や魅力的な専門学科等とは？

- ・生徒数の減少
- ・小規模校化が進行し、効果的な学びが実現できる学校規模を確保できない
- ・専門学校を単独で維持できない
- ・地元経済界のニーズ
- ・専門学校等だけでは産業人材が足りない
- ・実学系高校への地域の期待は高いが、普通科指向が根強い
- ・専門高校の魅力が十分に県民に伝わっているか

主なキーワード

学びのシナジー、農商工連携、学校間連携、広報、外部リソース、進学・就職実績、中学校との連携、産業集積地域、大規模高校、

☆具現化のための方策案(共通部会・専門部会意見)

共通

- 共通の取組意見
- ・コーディネーターの配置
  - ・輸出への視点

専門的取組

- 農業
- ・GAPに基づいた農業学習
  - ・アプリ等の活用とデータ分析による栽培
  - ・外部機関との施設の利用
  - ・専門職大学と連携した5年制、7年制教育の検討

- 工業
- ・EVIに特化した能力の育成(電気科等)
  - ・企業へのアイデア提案機会の創出
  - ・英語科との横断的授業
  - ・ものづくりへの生成AIの積極的な活用等

- 商業
- ・実践的なデジタルマーケティング学習
  - ・観光資源の発見とビジネスの創出
  - ・商品開発や観光に関する多言語活用
  - ・仮想会社設立

- 水産
- ・開発商品の高付加価値化
  - ・デジタル化に対応した学校設定科目の設置
  - ・閉鎖循環式養殖施設の整備
  - ・焼津市、企業と一体化したプロジェクトの検討

- 家庭
- ・家計能力の強化(金融等)
  - ・中長期的な就業体験活動
  - ・普通科高校への専門教科「家庭」の推進
  - ・消費者の立場を重視した経営感覚の醸成

- 福祉
- ・企業と連携した出前授業
  - ・外国人職員を招いた学習機会の創出
  - ・他学科と連携した福祉ビジネスの創出
  - ・地域住民への定期的なケア体験の検討

- ・県プロジェクトの活用
- ・専門高校の魅力発信

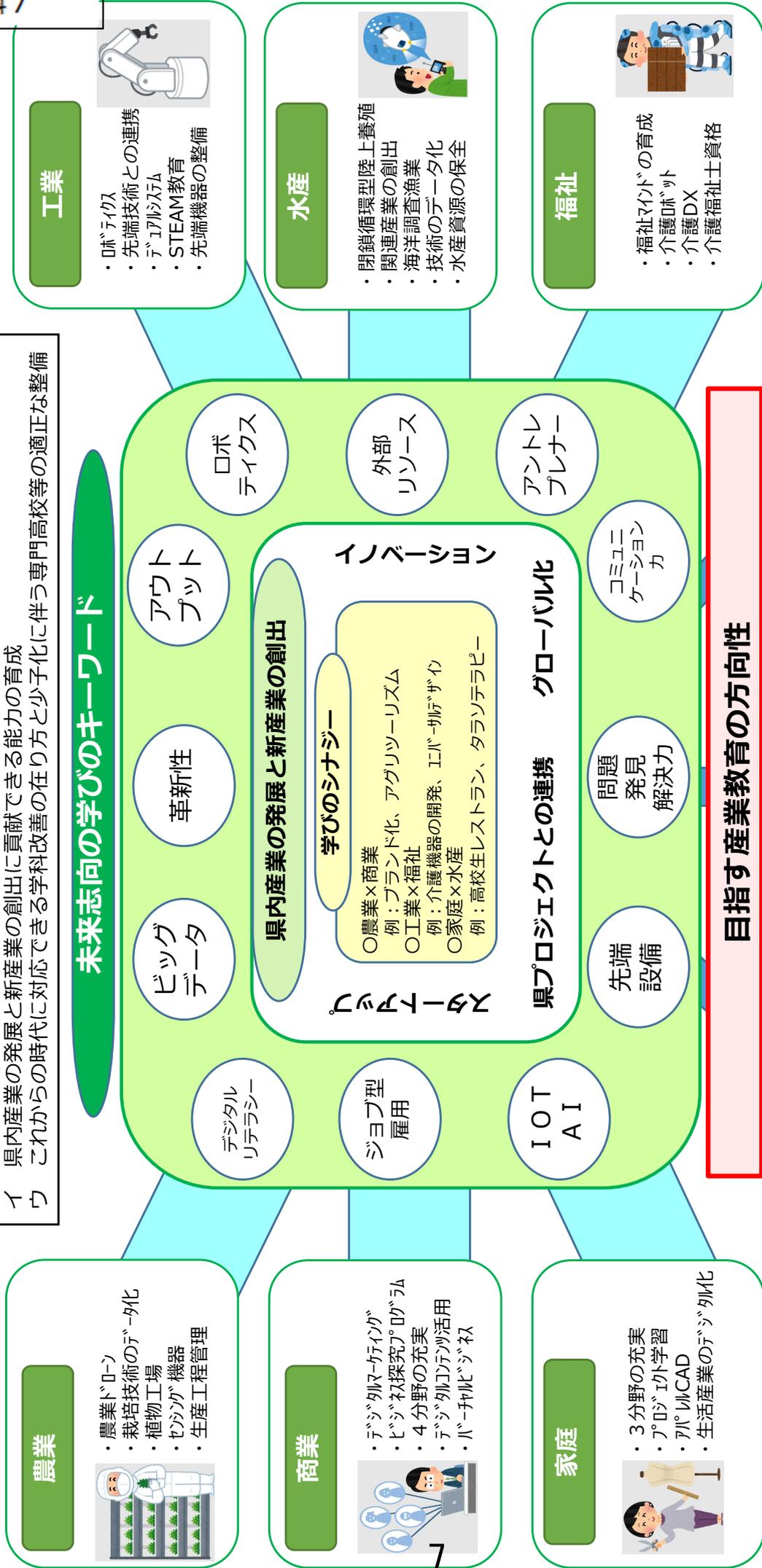
- ・企業等での実体験の充実
- ・教育環境の更新、整備

- ・起業家講話
- ・各分野における基礎・基本の習得

# 静岡県産業教育審議会

○専門高校等におけるこれからの時代に対応した産業教育の在り方  
 社会の急激な変化に主体的に対応できる専門的資質・能力の育成  
 県内産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力の育成  
 これからの時代に対応できる学科改善の在り方と少子化に伴う専門高校等の適正な整備

## 未来志向の学びのキーワード



**農業**

- ・農業ドローン
- ・栽培技術のデータ化
- ・植物工場
- ・センシング機器
- ・生産工程管理

**商業**

- ・デジタルマーケティング
- ・ヒューリスティック探究プログラム
- ・4分野の充実
- ・デジタルコンテンツ活用
- ・バーチャルビジネス

**家庭**

- ・3分野の充実
- ・プロジエクト学習
- ・AP/ILCAD
- ・生活産業のデジタル化

**工業**

- ・IoTデバイス
- ・先端技術との連携
- ・デジタルシステム
- ・STEAM教育
- ・先端機器の整備

**水産**

- ・閉鎖循環型陸上養殖
- ・関連産業の創出
- ・海洋調査漁業
- ・技術のデータ化
- ・水産資源の保全

**福祉**

- ・福祉マインドの育成
- ・介護ロボット
- ・介護DX
- ・介護福祉士資格

**イノベーション**

**学びのシナジー**

- 農業×商業  
例：ブランド化、アグリツーリズム
- 工業×福祉  
例：介護機器の開発、EPOC/カリガザイ
- 家庭×水産  
例：高校生レストラン、タラシテラピー

**グローバル化**

**問題発見解決力**

**先端設備**

**コミュニケーション力**

**アウトプット**

**ロボティクス**

**外部リソース**

**アントレプレナー**

**ビッグデータ**

**革新性**

**デジタルリテラシー**

**スマートデバイス**

**グローバルプロジェクトとの連携**

**先端設備**

**IOT AI**

**シヨブ型雇用**

## 目指す産業教育の方向性

○ **知識・技術等の高度化・複雑化への対応**  
 例：ロボティクス、バーチャルビジネス企業等と連携したエコシステム

○ **教員の資質向上**  
 例：特別教諭等の配置、民間企業実習

○ **施設・設備の整備**  
 例：実習船、植物工場、既存施設の更新

○ **地域産業の継承と創造**  
 例：企業との共同研究、シヨブ型雇用への対応  
 インターンシップ、イノベーターの育成

○ **起業家精神と経営感覚の醸成**  
 例：アンブレレナーの育成、データサイエンス

○ **グローバル化への対応**  
 例：外国人学校との共同授業、海外インターンシップ

○ **オンラインを活用したハイブリット教育**  
 例：専門科目の他校への配信

○ **多様な学びの組み合わせ**  
 例：農×商、工×商、普通×?

○ **専門学科への夜間定時制の授業の受け入れ**

○ **専門のフルモデルエンジニア**  
 例：バカコレアCP、EV科、レストラン科

# 専門教育における取組事例

## ○社会の急激な変化に主体的に対応できる専門的資質・能力の育成

### 1 高度化する知識・技術への対応



**インクルーシブ教育**

キャリア教育の一環として、将来、地域で活躍する人材の育成を目指している。



**マイスター・ハイスクール**

産業界と専門高校が一体となり、地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人材を育成する。



**専門学校等での体験授業**



**認知症VR体験**

認知症の方の見える世界をVRで体験するとともに、声掛けや対応の仕方について学んだ。



**企業等との連携（現場見学）**

### 2 教職員研修の充実と新規教員の確保



**高大連携に関する協定**

大学教育が求める学生像及び教育内容への理解を深め教育・研究に寄与。



**工業科研修委員会**

最先端機器や研究施設、生産現場等の視察研修を通し、新たな技術に対応できる人材の育成を目指す。



**高度外部人材の活用**

（未来のスペシャリスト育成事業）

専門科目の実習等において高度技術者等を招聘し、知識・技術両面の習得を図る。

### 3 施設・設備の整備



**複合環境制御装置**



**加工・計測・ロボット化対応実習装置**

**R3スマート専門高校**

Society5.0時代における職業人育成を進めるため、専門高校においてデジタル化対応装置の環境を整備。

**実学高度化推進事業**

新しい技術と乖離した専門高校の設備の改善及び最新設備の活用による、より実践的な専門教育を行い、専門的職業人を育成する。



**プレゼンテーション実習装置**



**航海用シミュレーター装置**



**水中ドローン**



**レーザー加工機**



**フライス盤**



**産業用ロボット**



**分光光度計**

# ○県内産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力の育成

## 1 地域産業の継承と創造



**地域の特産品などを利用した新商品開発**  
かんきつゆ  
24本入

松商業高校×春華堂 共同開発スイーツ  
「君にれもん」完成！  
2024年7月30日（水）春華堂東京店にて発売スタート！

**特別支援学校の生徒との交流**

**インターンシップ**

**地域住民との交流**  
他者への思いやりや優しさなどを育む貴重な体験となった。

**生徒による小中学生向け体験講座**

## 2 起業家精神と経営感覚の醸成



**ビジネスリーダー育成セミナー**  
地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人となる意欲を高める。

**地域住民向けイベントの企画**  
自分たちの学校は地域とともにあるという実感とボランティア精神に触れる良い機会にもなった。

**アサヒ飲料賞**

**熱海よ！レモン色に染まれ！！**  
静岡県立熱海高等学校

**しずおかスタートアップキャンプ**  
より良い社会の形成に必要な「新たな価値を生み出す創造力」やイノベティブな思考等を持ったアントレプレナーの育成を目指す。

**各種ビジネスに関するコンテストへの参加**

## 3 グローバル化等への対応



**国際航海を通じた現地高校生との交流**  
将来の進路選択を左右するほどの経験となっている。

**世界大会に繋がる競技大会への参加**

**タイ**

**インドネシア**

**台湾**

**海外インターンシップ**  
海外マーケットでの県内企業の魅力や競争力などを肌で感じ、将来的に県内企業や関連産業で活躍する意識を高める。

**外国人観光客への英語によるボランティアガイドの実施**

○社会の急激な変化に主体的に対応できる専門的資質・能力の育成

## 1 高度化する知識・技術への対応

	学科全体での取組	各高校での取組	新たな取組案（専門部会から）
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> <li>ものづくりマイスター派遣事業（厚生労働省）の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JGAPやミニHACCP、有機JAS認証等の取得</li> <li>植物工場やアプリによるデータを活用した農業実践</li> <li>スマート農業機械講座</li> <li>特別支援学校等との共同授業の実施（農福連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センシング機器や農業用アプリ等の活用とデータ分析による栽培</li> </ul>
工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や団体、大学、短期大学、専門学校等による授業</li> <li>大学との連携協定の締結</li> <li>静岡型マイスターハイスクール</li> <li>民間活力の導入事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EV対応する能力の育成（電気科）</li> <li>AIの積極的な活用</li> </ul>
商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的なデジタルマーケティングの学習</li> <li>情報セキュリティやデジタルリテラシー教育の強化</li> </ul>
水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> <li>シミュレーターを活用した航海実習のデジタル化</li> <li>東海大学海洋学部等との高大連携の促進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化に対応した学校設定科目</li> <li>水産関連業における高付加価値化</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> <li>専門学校等での体験授業の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>産業現場における継続的・中長期的な就業体験活動</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> <li>ICTを活用した福祉事務業務の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高大連携事業として、福祉・医療系大学の見学の実施</li> </ul>	
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度外部人材の活用</li> <li>大学等との連携（講座、年間計画に取り入れた授業、共同研究、共同開発 等）</li> <li>企業等との連携（講座、現場見学、共同研究、共同開発 等）</li> </ul>		
県事業：未来のスペシャリスト育成事業（外部人材の活用、大学・企業等での実習支援）			

## 2 教職員研修の充実と新規教員の確保

	学科全体での取組	新たな取組案（専門部会から）
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技講習会と研究発表会の実施</li> <li>静岡大学農学部教職課程学生の実地研修受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート農業に関する授業事例の共有化</li> <li>農業経営現場での実践的な研修機会</li> </ul>
工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術力・指導力向上研修（電子回路組立、旋盤）</li> <li>STEAM教育基礎研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業等長期派遣研修、大学派遣等の実践的な研修機会の拡充</li> <li>外部人材を積極的に活用した教員への技術伝承や競技運営への参画</li> <li>全教員を対象プログラミング指導力向上のための研修機会の確保</li> </ul>
商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケースメソッド教材開発と実践研修</li> <li>産業社会の変化に対応した指導方法の研究（県商研 四分野研究委員会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員のコーディネート力の強化（連携をコーディネートする商業科教員の育成）</li> <li>教員の企業研修、見学の増加（教員と社会の接点）</li> <li>地域産業、ビジネスの動向、起業家精神、経営感覚、英語等に関する教員対象研修の実施</li> <li>「学び続ける教員を支えるエコシステム（仮称）」の構築</li> </ul>
水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京シーフードショー視察研修</li> <li>水産教員養成課程の大学生の水産教育体験研修の受入</li> <li>ICT研修（水中ドローン操作等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・実習等の指導方法マニュアル化・データ化</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術力・指導力向上研修</li> <li>家庭科教育研究会研修（大学教授等の講義、会社見学等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域産業への理解</li> <li>実技講習会の充実</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術力・指導力向上研修</li> <li>福祉教育研究会研修（大学教授等の講義、施設見学等）</li> <li>教員採用試験における特別選考制度</li> </ul>	
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技に関する研修の充実（基本、先端技術、民間企業、大学、専門学校 等）</li> <li>デジタルリテラシー研修（スマートフォンアプリ、専門ソフト 等）</li> </ul>	
県事業：民間派遣研修1年間（農、工、商）		
振興会：教職員の海外派遣		

## 3 施設・設備の整備

	学科全体での取組	各高校での取組	新たな取組案（専門部会から）
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室複合環境制御装置等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業法人や研究機関等との施設設備の共同利用</li> </ul>
工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Dモデル作成装置、加工・計測・ロボット化対応実習装置等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業、団体からの教材提供（産業用ロボット、動力付カート、自動車教育用教材等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校・自科の施設・設備を他校・他科に開放・貸出（相互に探究的な学びを充実させる仕組みづくり）</li> <li>近隣企業の最新鋭機器を貸出・展示、生徒が触れる機会設定</li> <li>クラウド環境や生成AI活用等を意識した情報・産業機器整備</li> </ul>
商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション実習装置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能PCやソフトウェア等の新規整備や更新期間の短縮</li> <li>実際の企業を想定した実習室の工夫</li> <li>クリエイティブツールキットやデジタルマーケティングを支援するアプリケーションの導入</li> <li>バーチャルインターンシップやバーチャルビジネスシミュレーション、グローバルビジネス体験等の実施</li> </ul>
水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>航海用シミュレーター装置</li> <li>19t船（リサーチ）の建造（R8完成予定）</li> <li>実習船やいづの建造計画（R10完成予定）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>研究や企業実践の面から閉鎖循環式養殖施設の整備</li> <li>地域水産業等との施設・設備の共同利用</li> <li>「安全・安心」を担保できる施設・設備（船舶、臨海実習場）</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>アパレルCAD実習装置</li> </ul>		
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護事務実習装置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と連携した最新機器の整備</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設の改善（安心・安全な授業実施）</li> <li>先端機器の整備及び確実な機器更新</li> <li>外部施設での実習</li> <li>デジタル機器メーカーとの連携</li> <li>ファブスペース（地域貸出による学校理解）</li> </ul>		
国庫：スマート専門高校（R3整備）			
県事業：実学高度化推進事業費60,000千円（各校で順位付けした設備の更新 例：トラクター、鋳造高炉 等）			

○県内産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力の育成

1 地域産業の継承と創造

	学科全体での取組	各高校での取組	新たな取組案（専門部会から）
農業	インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特産品の栽培、加工、販売</li> <li>商品開発、地域資源の観光プラン化</li> <li>F S C 認証の理解、連携</li> <li>幼稚園、小学校、特別支援学校等との交流及び共同授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携コーディネーター</li> <li>関係情報を集積させたデータバンク</li> <li>特別免許状の活用も含めた外部人材の活用</li> <li>共同研究</li> <li>農家や企業との交流増加</li> <li>農林環境専門職大学を取り入れた5年制、7年制教育</li> </ul>
工業	インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域産業との連携（光、ロボティクス等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングプラットフォーム</li> <li>産学連携コーディネーター</li> <li>工場見学の機会増加</li> <li>卒業生の授業活用</li> <li>企業との協働創作</li> <li>長期インターンシップの実施</li> <li>異なる学科や他教科との連携や学習成果発表の機会を拡大</li> </ul>
商業	インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特産品の商品開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連産業の民間活力の活用</li> <li>SDGs、地域（観光）資源に着目したビジネスに関する探究活動</li> <li>仮想会社設立などによる起業体験の機会提供</li> <li>企業との長期連携（コンソーシアムの設立、プラットフォームの構築、企業からの長期研修員受入）</li> </ul>
水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ</li> <li>地域特産品の商品開発</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大学や企業との共同研究</li> <li>特別免許状の活用も含めた外部人材の活用</li> <li>地域関連産業フォーラムの構築</li> <li>産学連携コーディネーター</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域食材を使用した商品開発</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>産学連携コーディネーター</li> <li>普通科高校への専門教科「家庭」の普及</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の福祉施設での介護実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護職以外の専門職による講話</li> <li>地域住民との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低年齢層への高校生による出前授業（企業と協同で）</li> <li>福祉マインドの育成（小中高生）</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域産業、特産品への理解と活用（商品開発、共同研究 等）例：各学校で1本柱を立てる</li> <li>学校と地域産業等を繋ぐコーディネーター</li> <li>他学科との横断的な授業展開</li> <li>普通科を巻き込んだ産業教育の検討（県内産業従事者の拡大）</li> <li>生徒による小中学生向け体験講座（個人、親子）</li> <li>中学生の子供を持つ保護者向け体験講座</li> </ul>		
県事業：			

2 起業家精神と経営感覚の醸成

	学科全体での取組	各高校での取組	新たな取組案（専門部会から）
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢未来塾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスプランコンテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティング検定</li> <li>スタートアップを学習する学校設定科目の検討</li> </ul>
工業		<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボットアイデア甲子園</li> <li>ものづくり・ことづくりプランコンテスト</li> <li>知的財産教育講習会、起業セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアを形にできるものづくり技術者の育成</li> <li>企業へのアイデア提案機会の創出</li> <li>表彰制度の導入</li> <li>経営的視点の育成</li> </ul>
商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスリーダー育成セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに関するコンテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済や産業と接続した実践的カリキュラムの整備</li> <li>「おもてなし」の実践的な学習や経営体験等</li> <li>創業支援機関との連携や若手起業家等との交流によるロールモデルの提示</li> <li>コンテストへの参加を通過点と捉え、その先を見据えた実践的支援</li> <li>スタートアップ拠点との交流機会の創出</li> </ul>
水産			<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップ企業の公演、若手経営者との交流機会</li> </ul>
家庭			<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決的な学習の充実</li> <li>消費者の立場を重視した経営感覚の醸成</li> </ul>
福祉		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による地域住民向けイベントの企画運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護総合演習における事前事後指導</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究的思考の育成（ショートサイクルでの課題発見と課題解決の反復）</li> <li>ビジネスプランコンテスト等への積極的な参加</li> <li>起業家による講話</li> </ul>		
県事業：しずおかスタートアップキャンプ（静岡大学共催）			
知事部局：アントレプレナーシップ育成プログラム「FuJI」（産業イノベーション課）			

3 グローバル化等への対応

	学科全体での取組	各高校での取組	新たな取組案（専門部会から）
農業		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外連携校からの訪問受け入れ及び交流活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸出入に必要な知識や規則など実務的学習</li> <li>リモート視察、オンライン交流の活用</li> </ul>
工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>県教委等主催の海外研修への積極的な参加</li> <li>世界大会に繋がる競技大会への参加</li> <li>生徒研究発表会（工業教育研究会主催）における英語発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外姉妹校等からの訪問受け入れ及び交流活動の実施</li> <li>学校独自の海外研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人との交流機会の創出</li> <li>外国人との共同課題解決の場の創出</li> <li>専門英語の実践的活用（英語科との横断的授業）</li> </ul>
商業		<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインによる国際交流事業の実施</li> <li>グローバル人材育成のための海外派遣事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の海外部門や外国人労働者、日本語学校との交流</li> <li>商品開発や観光に関する多言語広報物の作成</li> <li>海外の専門高校生とのオンライン共同プロジェクト</li> <li>積極的にコミュニケーションをとる生徒の育成</li> </ul>
水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪日高校生等の積極的な受入交流（モンゴル、台湾、フィリピン大使館、島嶼国）</li> <li>国際航海を通じた現地高校生との交流（ミクロネシア等）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外高校生とのオンライン交流</li> <li>イベントにおける海外ブース訪問やフォーラムへの積極的な参加</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の生活文化への理解と地域特産品の活用</li> </ul>		
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の社会福祉や福祉事情を理解する学習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の外国人職員を招いた学習機会の創出</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業内外国人や外国人学校との交流（行事、授業、インターンシップ 等）</li> <li>訪日高校生等の積極的な受入</li> <li>専門分野の外国語活用による興味付け授業（英語科等との連携）</li> </ul>		
県事業：高校生海外インターンシップ、トビタテ留学JAPAN「拠点形成支援」			